

平成23年度 学校経営の改革方針

学校名 三重県立稲生高等学校

I 目指す学校像（基本理念）

『社会に役立つ人材を育成する』

- 進路実現を目指し、向上心、規範意識、コミュニケーション能力、忍耐力、基礎学力を身につけた生徒を育成します。
- 生徒・教職員が一体となり、生き生きと活気あふれる学校を作っていきます。
- 学校の存在価値を高めるとともに、地域から「信頼される学校」「選ばれる学校」となるように、主体的な経営改善を繰り返します。

II 現状と課題

- 1 最近の厳しい経済状況の中で進路希望を実現していくために、職業観や勤労観を育成し、自分の進路希望実現の夢に向かって努力する姿勢を身に付ける必要があります。そのため、キャリア教育を柱とした教育活動を展開する必要があります。
- 2 高校生活を通して、社会で必要とされる確かな学力を身につけさせるための対策に教職員一丸となって取り組んでいく必要があります。
- 3 3つの学科・コースによる目標や活動をもとに「社会に役立つ人材」を育成するためには、生徒の多様性を重視しつつ、生徒一人ひとりに応じたきめ細かな指導を行っていく必要があります。
- 4 学校教育の質をさらに高めるため、教職員一人ひとりが意欲的に仕事に取り組み、自ら行動し自ら課題解決を図るなど、改善活動を繰り返し行っていく組織をつくる必要があります。
- 5 地域社会や保護者との連携を一層強めて、学校の「安心・安全」を高めるなど、地域や県民から信頼される学校づくりが求められています。
- 6 学校をさらに活性化するためには、県内唯一の体育科を中心とした部活動をより一層活性化していく必要があります。

III 中長期的な重点目標

- 1 社会に役立つ人材育成
 - 生徒一人ひとりに正しい倫理観や道徳観を身につけさせ、基本的な生活習慣を確立させます。
 - 進路実現に向けて、向上心や忍耐力を高めるとともに、基礎学力、コミュニケーション能力の向上を図ります。
- 2 キャリア教育の確立
 - 生徒一人ひとりの職業観、勤労観を育成するため、本校を取り巻く環境や生徒の実態に即してキャリア教育に取り組みます。
 - 本校の教育活動として定着させるために、生徒との対話を増やすとともに、関係の学校や企業との連携を強めます。
- 3 学校の一層の魅力化・活性化
 - 社会に出て必要な「生きる力」を育成するため、クラブ活動、生徒会活動、資格検定試験への挑戦等、自発的な教育活動の場を大切にします。
 - 県内唯一の体育科を一層活性化し、競技力向上に寄与するだけでなく、体育を通じた人づくりを進めます。さらに、体育科を中心として部活動の一層の活性化を図ります。

4 人権教育

○生徒一人ひとりを大切にする校内人権文化の構築を図ります。

5 学校運営

○学校教育活動の様々な場面で目標管理のマネジメントサイクルが機能するようにします。
学校経営品質をそのためのツールとしていきます。

○教職員がそれぞれの能力を最大限に発揮できる職場環境をつくります。

IV 本年度の計画

1 授業を充実させる取り組み

(1) オフサイトミーティングやベンチマーキング、外部講師による研修会等の実施を通して、わかる授業を目指した授業改善や基礎学力の定着に向けて、組織的に取り組みます。

(2) 生徒一人ひとりの進路希望に即した個別指導や面談指導を充実します。

(3) 外部教育力の活用を進め体験型の授業内容の充実を図ります。

(4) 授業等を通して情報モラルやマナーを指導します。

(5) 生徒が学習に専念できるよう教育環境の維持・改善に努めます。

2 学校価値を高める取り組み

(1) 学校が地域社会に貢献できる取り組み、地域社会が学校を応援する取り組みを積極的に実施します。

(2) 商工会議所等の関係機関との連携を密にして、インターンシップをはじめとするキャリア教育を定着させます。

(3) 学校ホームページの更新回数を増や増やすなど、情報発信を積極的に行います。

(4) 中学生向けに、学校の広報誌を作成するとともに、中学校訪問を積極的に行い中学校との連携を深めます。

(5) 登下校安全指導員、保護者、地域社会との連携を図り、登下校指導等の取り組みを充実させ、生徒の安全・安心を図ります。

3 生徒一人ひとりの能力や個性を伸ばす取り組み

(1) 「あいさつ・身だしなみ・言葉づかい」を徹底する中で、生徒一人ひとりに正しい倫理観や道徳観を身につけさせ、基本的な生活習慣を確立させます。

(2) 生徒会活動や学校行事、クラブ活動などを活かして、生徒の自主性を育みます。

(3) 生徒の危機管理意識を高めるため、訓練や研修会、講演会を実施します。

(4) 人権デーを中心とした取り組みを生かして、人権感覚の育成・定着に努めます。

(5) 社会に出て必要な「生きる力」につながる「たくましい心」を育てるため、クラブ活動や資格検定試験への挑戦など自発的な教育活動の場を大切にします。

この計画を実現させるために、以下の取り組みを行います。

○ 体育科

・ 最初の授業でオリエンテーションを行い、指導の徹底をはかるとともに「体育科申し合わせ事項」を教官室内に掲示し、教員も確認し徹底します。

・ 毎回の授業の最初で徹底して指導を行います。「まず挨拶！」を根気強く指導するとともに相手の目を見て元気よく、心を込めた挨拶をこころがけさせます。

・ 各行事等の準備・片付けの重要性を毎回指導します。物を投げたり、投げ渡しなど、破損を減らす指導の徹底を図ります。

・ 自分の行動に責任を持たせ、5分前行動などルールを守ることを徹底して指導します。

○ 普通科

・ シラバスの見直しを継続して行います。

・ 1年生の類型選択がスムーズに行われるように互いに協力し合います。

・ 類型を通して、生徒が自らの将来について考え、進路実現に向けて努力できるように

サポートします。

- ・それぞれの類型の授業で、生徒満足度調査で「大いに満足、満足」70%を目指します。
- ・各類型ごとに定期的に会議を開催しチームを機能させます。
- ・少人数講座の利点を活用し、きめ細やかに生徒に関わり、ルール・マナーや挨拶・言葉づかいなどの大切さを理解させます。また、会議等で生徒の情報交換を密にします。

○ 情報コース

- ・PC室利用マナーの徹底（授業終わりの5秒間チェックの徹底）を図ります。
- ・情報モラルの指導を年間3回以上行います
- ・話を聞く態度の徹底（授業の最初、最後の挨拶の徹底）を図ります。
- ・就職・進学時の面接を見据え、教員に対して敬語で話ができるように指導します。
- ・与えられた課題に一所懸命取り組むことはもちろん、自分のオリジナリティを出した作品を作るよう指導します。
- ・検定学習を通じて、向上心・自信を持たせます。（検定前補習の実施3回以上、基礎学力の向上）
- ・定期的に教科会を開催し、魅力的な教材、教授法の研究・開発を行います。

○ 1学年

- ・状況に応じて「今は何をすべきか」「どういう態度で接するべきか」を考えさせます。
- ・1学期中に職員室の入室指導を徹底します。
- ・授業開始時、入室時に服装・頭髪、身だしなみの指導を行います。また、生徒指導部との連携を図り、指導を徹底します。
- ・毎日の教室掃除に手を抜かない、授業に関係のない不要な物を持ち込まないよう指導します。
- ・生徒の学力を確実に把握し、教科担当者との情報交換を積極的に行います。
- ・相手の目を見て話しをする、聞く、の対話姿勢を重視します。また、教員も積極的に生徒に声をかけます。

○ 2学年

- ・HR、授業、集会等、日常的に声をかけ、HRノートも活用させながら、「いつまでに」「何を」しなければならないかを自覚させます。
- ・教員からも元気に挨拶し、言葉遣いについても必要に応じて指導します。また、生徒同士の人間関係についても把握に努めます。
- ・頭髪、服装（ネクタイ・リボンの締め方を含めた着こなし）、装飾品等を始め、心構えについて、保護者とも連携して指導していきます。
- ・清掃をきちんとさせ、日ごろから教室等をきれいにするよう指導します。また、授業に必要な物と不要なものとのけじめをつけ、机上进行整理整頓させます。
- ・教員と生徒の相互理解を基盤にした関係づくりに努めます。他者を「認められる」ようになるためにも、自分が「認められる」経験を重ねさせ、まずは受け容れることを意識して生徒と接します。

○ 3学年

- ・早い段階からの面談を行うとともに、面談を繰り返し行います。
- ・基礎学力の向上、コミュニケーション能力の向上、身だしなみの指導に力をいれます。
- ・授業の始まりや職員室等への入室の際、身だしなみ、言葉づかい、礼儀などを指導します。
- ・基本的な生活習慣を身につけさせ、時間前行動の指導を徹底します。
- ・掃除の徹底、身の周りの整理整頓、掃除の時間以外でも気づいたときにゴミや汚れをきれいにするよう指導します。
- ・自分勝手な行動をせず、協力、助け合う姿勢を考えさせます。

- 経営企画部
 - ・ ホームページの更新を月2回以上行うとともにホームページ以外にも情報を発信します。
 - ・ 体育科、普通科、情報コースの特色ある教育活動を積極的に進めます。
- 教務部
 - ・ 授業前後の挨拶を徹底します。
 - ・ 机の上に教科書等を置く、また授業に不要な物は鞆にしまうことを徹底します。
 - ・ 私語をしないで授業に集中するよう指導します。
- 進路指導部
 - ・ 会社訪問の強化、面接指導の強化、生徒面談・保護者面談を実施します。
 - ・ 就職課外への全員参加を目指し、基礎学力の定着を図ります。
 - ・ 個別対応による基礎学力の定着とともに小論文対策指導を行います。
 - ・ 卒業生による進路講演会や適性検査の実施など、進路ガイダンスの充実を図ります。
 - ・ 学校見学、企業見学、インターンシップへの参加を促します。
 - ・ 各種模擬試験を実施し、実力を的確に把握します。
- 生徒指導部
 - ・ 登下校指導、校内において、生徒が自然と挨拶ができるように指導・実践を行います。
 - ・ どこへ行っても恥ずかしくない身だしなみができるよう、校則で禁じられている項目はもちろん、着崩しについて指導を進めます。
 - ・ 日常会話の受け答えなどを正していきます。また、職員室への入室や授業を聞く態度などでも、就職進学試験を目標に指導をしていきます。
- 図書部
 - ・ 新入生オリエンテーション等いろいろな機会を活用して利用案内を行います。
 - ・ 授業等での利用を支援しPRしていきます。
 - ・ 生徒・職員のリクエストに積極的に応え、読みたい本がある図書館をめざします。
 - ・ 図書委員自らが編集した「図書館だより」を年8回発行します。
 - ・ 文化祭や図書館行事の企画・運営に積極的に関わり、協力して活動できるように支援します。
 - ・ マナー・ルール遵守の指導をきめ細かく、ねばり強く行います。
 - ・ 「読まない」「読めない」生徒の実態を把握し、読解力、興味に応じた本を紹介していくとともに「読み聞かせ」などの方法も取り入れていきます。
 - ・ 使い易い環境を整え、授業・部活動等での利用頻度を上げます。
- 保健環境部
 - ・ 4月当初にマナー等の指導を徹底します。
 - ・ 担任との連携を密にし、掃除参加の徹底を促します。また、分別も含め状況悪化の時は全職員に知らせ対処します。
 - ・ 広報活動（保健だより・ポスター等）に努めます。
 - ・ 生活習慣の重要性を訴え、体調不良の原因を自分で考え、改善できるよう指導していきます。
 - ・ 来室した際には、授業の大切さを訴え続けます。また、遅刻指導との連携を図ります。
 - ・ 来室の様子を部外にも知らせ、生徒についての情報交換を積極的に行います。
- 経営品質プロジェクトチーム
 - ・ 「語る会」を早い段階から開き、具体的な方策を考えます。
 - ・ 全職員の声を漏らさず吸い上げて、課題の洗い出しを行います。
 - ・ 常にアンテナを立て、ベンチマーキング先を開拓し、計画を立てます。
 - ・ 「経品シート」や「アセスメントシート」の分析をしっかりと行い、組織の「強み」「弱み」を全職員が認識できるようにします。
 - ・ オフサイトミーティングや「語る会」を通して組織内のコミュニケーションを活性化

- させるとともに、広い視野からメンバーを募りプロジェクトチームを組織します。
- ・ 臨機応変にミーティングを持ち、できる限りスピードを意識して取り組むよう心がけます。